

---

# 他の多の世界

コクポ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

他の多の世界

### 【NZコード】

N6249N

### 【作者名】

コクポ

### 【あらすじ】

主人公「海藤蓮」<sup>かいとうれん</sup>は、自分の運命をあまり良くなは思つてなかつた。

そんなある日、人生の転機を迎える出来事がおこつた。蓮が出会つたのは、『悪魔や吸血鬼や魔法使いや天使や不死身の人間?等々』自分と違う種族の生物を見て、「海藤蓮」は、新たな世界を知る。だが、世界を知ることに蓮の体には、何らかの変化が・・・そして、世界のはてで見る世界の景色とは。

世界の変貌を賭けた複雑怪奇なミステリアス小説開幕!!!

## 始まりのページ

「ねえ、聞いた？また例のあいつが、奇妙なこと言つたらしによ。」

「あつ！知つてる！ヤバいよね、あいつ。」

「おい、知つてるか？あいつまた・・・」

「知つてる知つてる、まだだろ。」

夕暮れで紅く染まつた教室、目が覚めたらそこにいた。

「・・・・・・・・・・・・」

また寝過ごしたか、なんて言わなくていいか。

まるで、世界の終わりを告げるように紅くて、綺麗な夕焼け、そんなことを考えながら教室を360度見渡すと、窓側の一番前の席、女子が座っていた。

その女子は、皆からあいつって呼ばれてる。俺は、その女子と小学校から今の間まで、ずっと同じクラスだった。

中学に入つて、あいつが言つた一言であいつは、あいつになつた。

今は先生以外の人は、あいつの名前を呼ばない。いや、あいつの両親と先生以外か。

「・・・帰らないの？」

けつして、振り返った訳でもなく、ただ、前を向いたままあいつは俺に言った。

とても小さな声だったけど、清んだ教室にて、ほどよく反響して、俺の耳にその声は届いた。

「・・・・・・・・・・・・」

「・・・無視？それとも、寝たふり？起きてることは、知ってるんだけど。」

別にあいつのことが嫌いな訳じゃない。ましては、嫌われるからそれに乗じて無視してる訳でもない。

ただ、あいつとは、いや、人とは関わり難いだけ。会話をするのが、苦手なだけ。

「・・・あなたっていつも一人なのね。」

「いつもじゃない。今は、だ。」

「・・・そう。」

「お前にそ、いつも一人だる。」

「私は、いいの。一人のほうがいいから・・・」

「そうかよ。」

静かな教室で一人の声だけが、虚しく反響する。田は、沈みかけもう、辺りは、暗くなつてきている。

・・・そろそろ帰るかな、静かな教室に雑音をたてたくないから、静かに立ち、鞄を持つて教室を出た。

出るときに振り返つて教室の中を見渡したけど、あいつは、真っ直ぐ前を向きながら、口を小さく開けたり、閉じたりしていた。

一人言か。

教室の扉を閉めて、玄関に近い中央階段からじやなく、教室から近いほうの階段から降りて玄関に向かつた。

## 死するモノ

教室近くの階段から降りたことに特に意味は無いが、何となく暗くなつていく校内を眼で感じたいと思つた。

玄関に着くまで、それほど時間はかからなかつたが、辺りは完全に暗くなつていた。

俺の住んでいるところは、県内でも端のほうで、そこそこ家はある方だが、外灯が少ない。だから、日が沈むと真っ暗闇に近いくらい暗くなる。

真っ暗な夜道を一人で歩いていると、田の前に黒いフードを被った奴が現れた。

暗くてよく見えないが、何か持つてゐる。

・・・鎌？嘘だろ！？

俺が、まばたきをした一瞬、黒いフードの奴は、俺の前から居なくなつていた。

幻覚？・・・勘弁してくれよ。

そう思つて眼を擦ろうと思つたら、両腕に違和感が・・・ボトンンと何かが落ちる音が近くで聞こえた。

下を見ると、腕が二つ、関節より少し下あたりの大きさ、道に転がつていた。

・・・・・声がない。凄く激痛で、叫びたくなる痛みなのに、  
声が出ない。

痛みは、腕だけじゃ無かつた。腹にも、もの凄い激痛が・・・

・・・・・俺、死ぬのかな？

ドシャと上半身がアスファルトに呑きつけられた。

痛い、痛い、寒い、死つてこんな感じなのかよ・・・死んでも良い  
つて思つてたけど、いざとなつたら、怖くて辛い。今、思い返せば、  
まだしたいこと沢山あつたのに・・・もう、ダメだ。意識が、  
遠く・・・・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6249z/>

---

他の多の世界

2011年12月20日22時47分発行